



スイッチのデコミッションおよび再コミッション

この章は、次の内容で構成されています。

- [スイッチのデコミッションおよび再コミッション \(1 ページ\)](#)

スイッチのデコミッションおよび再コミッション

ポッドのすべてのノードをデコミッションし、再コミッションするには、この手順を実行します。この使用例の1つは、ノード ID をより論理的でスケーラブルな番号付け規則に変更することです。

ステップ 1 ノードごとに次の手順に従って、ポッド内のノードをデコミッションします。

- a) [ファブリック (**Fabric**)] > [インベントリ (**Inventory**)] に移動し、**Pod** を展開します。
- b) スイッチを選択して右クリックし、[コントローラから削除 (**Remove from Controller**)] を選択します。
- c) アクションを確認し、[**OK**] をクリックします。

プロセスにはおよそ 10 分ほどかかります。ノードは自動的にワイプされ、リロードされます。さらに、ノード構成がコントローラから削除されます。

- d) 廃止されたノードにポート プロファイル機能が展開されている場合、一部のポート構成は残りの構成とともに削除されません。ポートをデフォルト状態に戻すには、デコミッション後に手動で構成を削除する必要があります。これを行うにはスイッチにログインし、**setup-clean-config.sh** スクリプトを実行し、実行されるまで待ちます。それから、**リロード** コマンドを入力します。

ステップ 2 すべてのスイッチがポッドから廃止されたら、それらがすべて物理的に接続され、目的の構成で起動されていることを確認します。

ステップ 3 次のアクションを実行して、各ノードを再稼働させます。

- (注) ポート プロファイルが構成されたノードを新しいノードとして再コミッショニングさせる前に、**setup-clean-config.sh** スクリプトを実行して、ポート設定をデフォルト構成に復元する必要があります。

- a) [ファブリック (Fabric)] > [インベントリ (Inventory)] に移動し、[クイックスタート (Quick Start)] を展開し、[ノードまたはポッドのセットアップ (Node or Pod Setup)] をクリックします。
- b) [セットアップノード (Setup Node)] をクリックします。
- c) [ポッド ID (Pod ID)] フィールドで、ポッド ID を選択します。
- d) [+] をクリックして、[ノード (Nodes)] テーブルを開きます。
- e) スイッチのノード ID、シリアル番号、スイッチ名、TEP プール ID、およびロール (リーフまたはスパイン) を入力します。
- f) [Update] をクリックします。

ステップ 4 [ファブリック (Fabric)] > [インベントリ (Inventory)] > [ファブリック メンバーシップ (Fabric Membership)] に移動して、ノードがすべて設定されていることを確認します。

次のタスク

ポッドがマルチポッドトポロジ内のポッドの1つである場合は、このポッドとノード用にマルチポッドを再構成します。詳細については、『Cisco APIC Layer 3 Networking 構成ガイド』 「マルチポッド」を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。